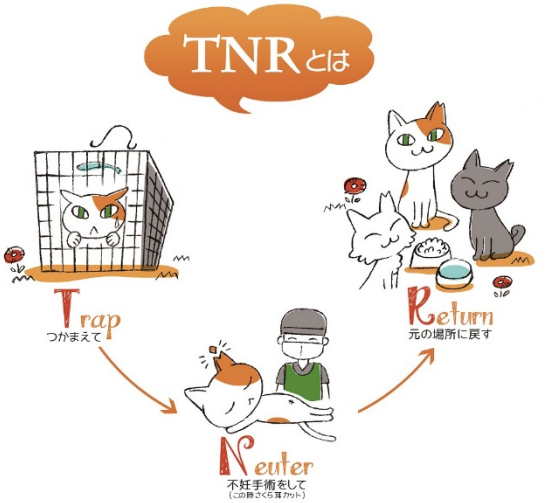
十島村さくらねこTNRプロジェクト

実施報告書

2020年度



主　催：公益財団法人どうぶつ基金

申請者：鹿児島県十島村

会　場：十島開発総合センター

鹿児島県鹿児島郡十島村大字中之島27-9

期　間：2020年7月14日～7月17日

公益財団法人
どうぶつ基金
www.doubutukikin.or.jp どうぶつ基金 検索
659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7　0797-57-1215　info@doubutukikin.or.jp

十島村（中之島）

※十島村役場公式サイトより

スケジュール

doubutukikin

日付	時間	
7/14	13：00～	手術室設営 全員でミーティング　自己紹介 捕獲、手術開始
7/15～7/16	8：45～ 9：00 17：00 夜間	朝礼　持ち場についての説明 獣医による手術後の猫の確認後、猫をリターン 手術開始 手術終了 定期的に猫の見守り
7/17	8：45 9：00 13：00	終礼 獣医による手術後の猫の確認後、猫をリターン 島所有の船で帰路（どうぶつ基金スタッフ）

地域の特徴

doubutukikin

申請事業の背景・必要性及び目的

中之島の人口154人（2019年12月末時点）に対し、猫の数は約100頭に達している。

島内には３地区の集落があり、うち２つの集落で猫の大量繁殖を確認。
1つの集落では、住民が避妊去勢手術をしていない猫と一緒に移住し、約70頭にまで繁殖してしまった。すでに飼い主が自力で対応することが難しい状況で、糞尿被害や発情期の鳴き声などを不快に思う近隣住民とトラブルになっている。
もう１つの集落でも同様、数年前に避妊去勢手術をしていない猫が持ち込まれたことが発端となり、現在約30頭を確認している。こちらの集落ではトラブルは起きていないが、近隣住民は今後も猫が増え続けるのではないかという不安を抱えている。

このままでは、さらなる住民トラブルの発展につながるだけではなく、観光資源にも大きな影響を及ぼしかねず、早急な対応が必要である。

ボランティアとその役割

doubutukikin

ボランティア数　10人

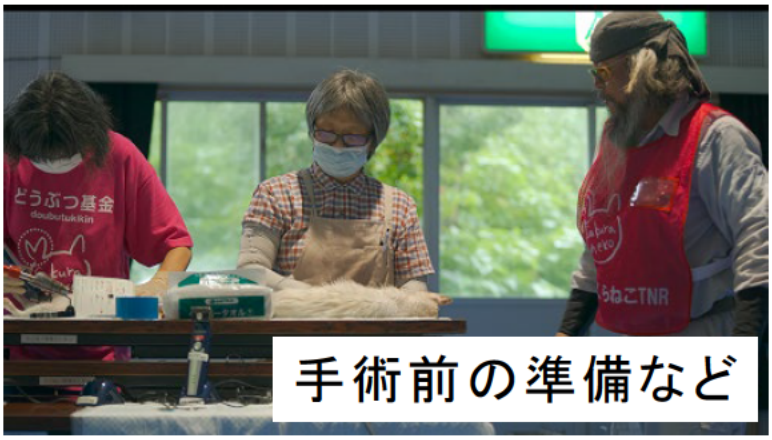
行政スタッフと現地ボランティアによって猫の捕獲作業が行われました。近隣住民へ捕獲器の設置について周知し、猫が捕獲された際に連絡が入る体制ができていました。

行政の公用車やボランティアが手配した車両で、猫を手術場所やリターンする場所まで運搬します。

手術場所に到着したら、猫の特徴を確認したり、体重を計ったりといった個体管理のサポートをしてもらいます。

ボランティアとその役割

doubutukikin



手術前の準備など

手術前に必要な毛刈りなどの準備もお手伝いいただきました。

術後の猫の様子を確認したり、翌日の捕獲に備えてケージを準備したり、使用したケージの洗浄も大切な作業です。
10人という少ない人数ながらも積極的に取り組んでいただき、大きなご助力をいただきました。

術後の見回りなど

ケージの準備や洗浄など

手 術 数

doubutukikin

手術数

	オス	メス	耳カットのみ	計
7月14日	18	16	0	34
7月15日	13	10	0	23
7月16日	8	7	0	15
7月17日	5	1	0	6

【捕獲数】 78頭

【手術実施数】 78頭　内訳：オス44頭、メス34頭（内妊娠1頭）

処置内容

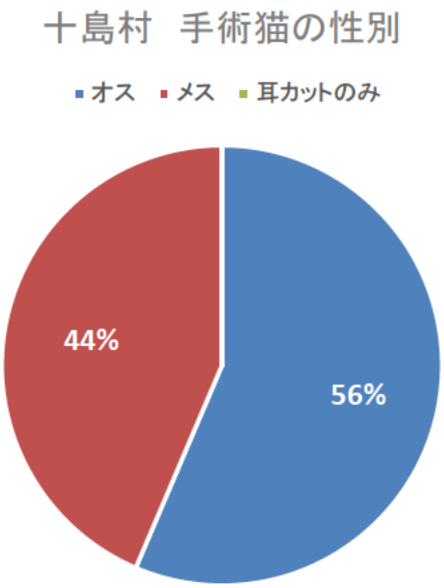
不妊手術（オス・メス）、3種混合ワクチン、補液、

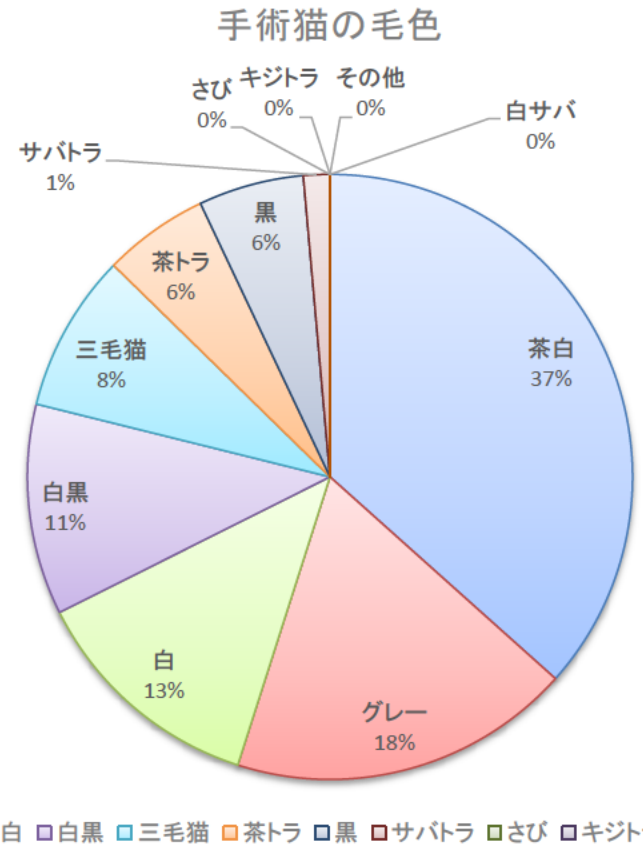
ノミ・ダニ・回虫の駆除（レボリューション）、負傷治療など

【診療以外】耳先のV字カット（さくら耳）、爪切り、耳掃除、ブラッシング

猫　オス・メス・毛色

doubutukikin





獣 医 師

doubutukikin

どうぶつ基金 執刀医： 山口 、石渡

手術後の様子

doubutukikin

手術の翌朝、猫たちの健康状態を確認して放します。

ま と め

doubutukikin

当初予定していた100頭より少ない一斉TNRとなりましたが、十島村役場や住民ボランティアの方々の協力を得て、78頭に不妊手術を行うことができました。出張手術前に発生した集中豪雨によって命を落としてしまった猫がいたことが残念でなりません。

現場となった１つの集落では、すでに猫の問題が住民トラブルに発展していました。不妊手術を終えたことで、これ以上猫の数が増える心配はなくなり、夜鳴きやケンカ、糞尿被害も激減して、ヒトと猫が共生する穏やかな島の暮らしが戻ってくるでしょう。
今回は、行政が「**駆除ではなくTNRによる共生**」のための予算を組んで事業化しました。この事業を通じて、行政と地域が連携して猫の問題に継続的に取り組む、その土台ができたと感じます。これが全国のノラ猫対策の見本になれば幸いです。

十島村中之島の猫たちは一代限りの命を健気に生きる「さくらねこ」となりました。
今後も皆様とともに、十島村の猫たちを温かく見守っていきたいと思います。

事業成果報告・自己評価書 doubutukikin

十島村から提出された事業成果報告･自己評価書（全4ページ）です。

2020 年度　さくらねこ無料不妊手術事業成果報告・自己評価書

（以下該当する□を■としてください。）

（※自己評価書の内容は、全部又は一部を公表することがあります。予めご承知おきください。）

実施期間	令和 2 年 7 月 14 日 ～令和 2 年 7 月 17 日	評価書作成日	令和 2 年 8 月 25 日
団体種別	■1 地方公共団体　□2 更生保護法人　□3 一般財団法人　□4 一般社団法人 □5 公益財団法人　□6 公益社団法人　□7 社会福祉法人　□その他（　　）		
団体名称	十島村役場		
フリガナ	ヒゴ　マサシ		
団体代表者 氏　　名	肥後　正司	役職	村長　代表印（必須）
評価書作成者	[redacted]	役職	[redacted]
作成者連絡先	[redacted]		
申請頭数	100 頭　申請書に記入した希望手術頭数を記入して下さい。		

【実施事業内容】

質問 1　今回の事業で具体的に誰（行政・ボランティア）がいつ、何を担当して実施したかについてご記載ください。

① T（トラップ・捕獲）

日時：7 月 14 日～17 日

【捕獲器は誰が用意しましたか？】

どうぶつ基金より約 50 基、県内保健所より 3 基をお借りした。

【実際の捕獲は誰がいつ何人でしましたか？】

行政スタッフ 2 名及び、ボランティア 2 名が当日朝から行った。

【猫の運搬車両は誰が用意しましたか？】

役場公用車及び、ボランティアスタッフ所有の軽トラックを使用した。

【実際の運搬は誰がいつ何人でしましたか？】

行政スタッフが公用車を、現地ボランティアが軽トラックを使い随時運搬を行った。

【その他の負担を誰がいつしたかを具体的にご記載ください。】

集落に設置した捕獲器について近隣住民に周知し、捕獲が確認された際には連絡を頂けるようにした。

② N（ニューター・手術）
日程：7月14日～17日
【協力病院名または手術会場】
十島総合開発センター

【手術後の猫保管場所】
十島総合開発センター集会所内

【手術数】
オス 44 匹 メス 34 匹 耳カットのみ 0匹

【出張手術の場合、手術日に参加した職員人数やボランティア人数をご記入ください。】
14日：職員2名、ボランティア3名
15日：職員2名、ボランティア4名
16日：職員1名、ボランティア4名
17日：職員1名、ボランティア4名

③ R（リターン）
日時：7月15日～17日
【猫の運搬車両は誰が用意しましたか？】
ボランティアスタッフ所有の軽トラックを使用した。

【実際の運搬は誰がいつ何人でしましたか？】
2日目から最終日にかけて、2名体制でおこなった。

【その他の負担を誰がいつしたかを具体的にご記載ください。】
宿から会場までのスタッフ送迎を行政及びボランティアにて行った。

【実施事業の成果】
質問2 申請時及び実施計画時に想定した成果目標（手術頭数、事業目的）を達成することできましたか（申請書等を参照。数値［手術した頭数 オス、メス、耳カットのみの頭数］などを用いて客観的に表現すること）。

100頭の目標に対し、78頭の実績であった。3月の申請時点で対象は100頭であったが、その後の記録的豪雨で島内ネコの数もかなり減ったと考えられている。そのような中で、78頭の手術で島のほぼすべてのネコがさくらネコになったと推測される。今回の行程では天候不良による船便の変更で日程の短縮もあったが、目標に限りなく近い成果が得られたと考える。

【スケジュール管理・計画性】

質問３　当初の計画時のスケジュールなどから変更した点についてご記載ください（変更があった場合には変更理由を記載）。その他計画を具体化するに当たって工夫した点などがあれば、併せてご記載ください。

当初、7 月 14 日から 7 月 18 日の 5 日間の予定であったが、天候不良により帰路の高速船の運航が危ぶまれたことから、日程を 1 日短縮することとなった。

【改善すべき点等】

質問４　今回の事業を振り返り、今後、類似の事業を実施する場合の改善すべき点や配慮しておくべき事項、事業実施に関する反省点やその他の気付きなどがあればご記載ください。

まずは捕獲をしないことには事業が始まらないと改めて実感した。次回同様の事業を実施する際には行政スタッフが先に現地入りし、ボランティアと共に捕獲作業を先に行っておくなどの工夫も必要だと感じた。

また、今回の事業だけで終わりではなく、継続的に行っていくことが大切だと考える。さくらネコ無料不妊手術チケットの制度なども活用し、地域と連携を図りながら今後も取り組んでいきたい。

質問５　質問１～４を踏まえ、実施事業の成果を全体的に見て、100 点満点（0 点～100 点）で自己評価を行ってください。また、評点の理由や根拠などをご記載ください。

評点
90

評点の理由：事業として成果が出たこと（島内ほぼ全頭の78頭の手術）が一番の理由である。天候不良により日程は短縮となりましたが、もともと余裕のある日程調整をしていたことで、スムーズに事業を完了させることができた。一方、単純なマンパワー不足は否めなかったため、スタッフの確保、ボランティアの確保についてはより検討していきたい。

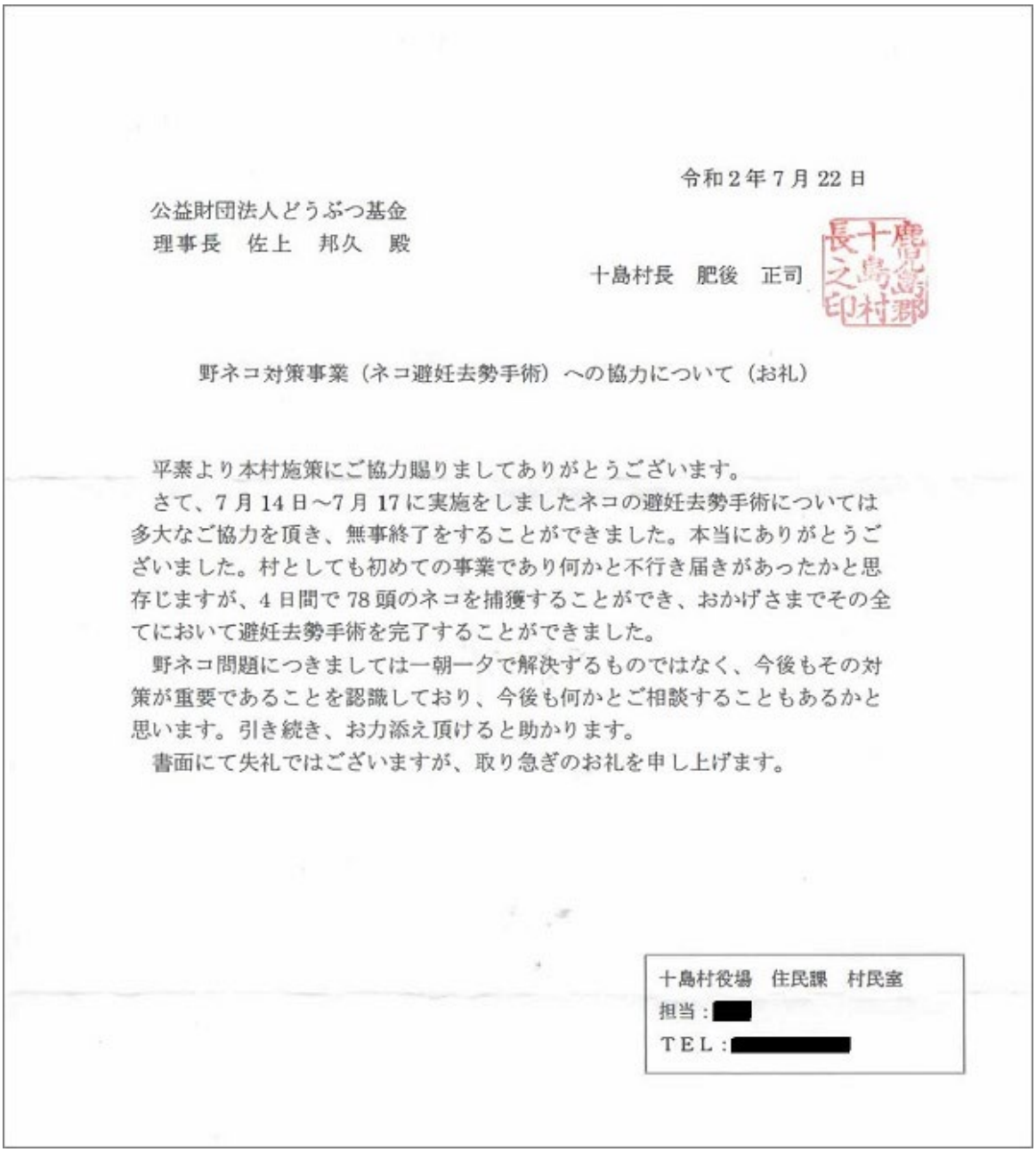
（以下、ご参考までにお聞かせください。） 【意図しなかった成果】 質問６　事業を行った結果を踏まえ、当初は意図していなかった実績・成果や社会的な影響・意義などがありましたらご記載ください。
今回手を挙げて手術の手伝いをしていただいたボランティアだけでなく、運搬の際に車両を手配して頂いたり、捕獲の際に餌を取り換えてくれたり、地域の方には当初想定していた以上にお手伝いいただいた。これをきっかけにネコの問題を、１人や１世帯だけの問題として終わらせるのではなく、地域全体の課題としてとらえて頂けるような環境づくりを進めていきたい。

【その他】 質問７　その他ご意見・ご要望等をご記載ください。
十島村には７つの有人島があり、どの島もそれぞれ避妊去勢されていないネコの課題は抱えている。今回中之島で事業を行ったが、今後残りの６島についても対策を検討していきたい。

添付資料、ホームページ掲載：

添付資料リスト： （助成による実施事業報告書・冊子等の成果物、案内用チラシ、メディアによる紹介等の資料があれば資料名を記載し、添付してください。添付資料名を助成の成果物としてどうぶつ基金事務局でＷＥＢ掲載したり、刊行物に転載する等、ご紹介する場合がございます。あらかじめご了承ください。）
１．
２．
３．
４．
５．
６．
７．
実施事業に関してホームページ等に掲載した場合は、そのURLをご記載ください： （どうぶつ基金でURLをＷＥＢ掲載したり、刊行物に記載したりすることがございます。あらかじめご了承ください）。
URL：http://

十島村よりお礼状が届きました！
このようなお礼状をいただき、参加した獣医師、スタッフともにお役に立てた喜びをあらためて感じています。
今後も、猫の問題を地域で解決するための土台づくりや、中之島以外の有人島での対策など、よきパートナーとして協力してまいります。



令和２年７月22日

公益財団法人どうぶつ基金
理事長　佐上　邦久　殿

十島村長　肥後　正司

野ネコ対策事業（ネコ避妊去勢手術）への協力について（お礼）

平素より本村施策にご協力賜りましてありがとうございます。
さて、７月14日～７月17に実施をしましたネコの避妊去勢手術については多大なご協力を頂き、無事終了をすることができました。本当にありがとうございました。村としても初めての事業であり何かと不行き届きがあったかと思存じますが、４日間で78頭のネコを捕獲することができ、おかげさまでその全てにおいて避妊去勢手術を完了することができました。
野ネコ問題につきましては一朝一夕で解決するものではなく、今後もその対策が重要であることを認識しており、今後も何かとご相談することもあるかと思います。引き続き、お力添え頂けると助かります。
書面にて失礼ではございますが、取り急ぎのお礼を申し上げます。

十島村役場　住民課　村民室
担当：[redacted]
ＴＥＬ：[redacted]

公益財団法人どうぶつ基金

十島村役場の皆様

十島村ボランティアの皆様